

令和7年度 都城市立安久小学校 学校運営協議会委員評価書

項目		設問概要	児童	保護者	職員	自己評価	R6	分析・考察等	学校運営協議会委員の意見	総合評価	平均	改善策
学校教育全体	1-1	学校に楽しく登校していますか	97	88	85	90	84	○ 1について児童の平均点は97点と極めて高く、学校が児童にとって居心地の良い場所であることが示されている。 ○ 学校行事や日常の生徒指導において、職員の組織的な取組が前向きに評価されたと考える。	○情報発信は重要で、日々の情報が伝わることを大切に工夫してほしい、そのために運営協議会も協力していく。 ○子ども会、PTA行事も保護者の考え方が変わり、とりまとめが大変で、実施が難しいという地域状況がある。 ○ 保護者の気持ちを変えるために地域を巻き込んでいく運営が重要であるので、運営協議会に公民館長を含めて実施する方が今後は望ましい。 ○ 学校の取組については、先を見ながら運営していることがわかる。今後は、保護者が地域に相談したり、学校の現状を地域に知ってもらったりすることも大切である。	88	90	○校時程変更により、朝の時間の運用を考える。凡事徹底、根拠が明確な主体的な言動、自他の思いや考えの受容の3点を育成する時間 ○「わさび」の考えを徹底し、「子ども達が主役の授業」への転換する。(ICTの効果的な活用について研究・実践を行う。)
	1-2	学校/先生は熱心に取り組んでいますか	96	88	92	92	87			92		
	1-3	行事/活動に楽しく/進んで参加していますか	96	87	91	92	85			—		
学力向上	2-1	先生の授業は分かりやすいですか	96	86	90	91	83	○ 4の家庭学習に関する習慣が最も評価が低く、特に職員(63点)と児童の自己評価(93点)との乖離が最大である。保護者からも「宿題が少ない」との意見が提出されており、習慣の質や量に問題があることが示唆される。 ○ 児童の話し方や聞き方といった「学習のきまり」の定着に課題がある。 ○ 児童は進んで読書をしている(97点)と感じているのに対し、保護者、職員の評価は低い。	○ 学校の取組については、先を見ながら運営していることがわかる。今後は、保護者が地域に相談したり、学校の現状を地域に知ってもらったりすることも大切である。 ○ 本校児童の地域の公園利用についての実態も含め、地域と保護者をつなぐ取組が重要である。民生児童委員協議会との連携も今後取り組んでいくとよい。 ○ 意見や要望ではないが、先生方のご尽力に頭が下がります。ありがとうございます。 ○ 学校の取組はとても良いと思う。全てをAにしたいのですが、全教師の共通理解と実践という点では、もう少し努力してみてください。価値観は多様化しても、学校としては、目指す児童像達成のためにぶれずに自信をもって教育を進めてほしい。事実確認と即対応を忘れないように。 ○綿密な計画のもとで。本年度の教育推進○協力に感謝いたします。	95	84	○ 朝の時間に基礎学力を身につける取り組みとして、①全学年統一した課題(ドリル等)をする。②図書時間をとる。③ビジョントレーニング等を取り入れる。 ○ 全学年で1分前着席、チャイム黙想を徹底するための学級掲示物を作成する。 ○ タブレットの画面をタブレットの使い方を書いた画像に設定し、きまりを遵守する態度を育成する。
	2-2	授業への意欲(やる気)がありますか	96	85	85	90	78			83		
	2-3	学習のきまりを身に付けていますか	95	81	74	83	74			75		
	2-4	毎日、家庭で学習する習慣がありますか	93	73	63	80	80			—		
	2-5	読書を進んでしていますか	97	83	73	87	67			—		
心の教育	3-1	進んで気持ちのよいあいさつをしていますか	97	88	83	90	72	○ 2について児童の平均点は98点で、良好な人間関係が築かれていることが大きな成果である。 ○ 4の(学校のきまり/マナー)については、職員(78点)と保護者(85点)の評価は、児童(97点)より低い。保護者からは、登下校時の交通安全指導の必要性や、小学生としての言葉遣いや態度ができていない児童への指導の要望も挙げられている。 ○ 3の(いじめのない学校づくり)については、総合平均は高いものの、一部の保護者からは「いじめだと感じている」「トラブル解決がかなり遅い」といった深刻な意見があり、対応への不満が残っている。	○ いじめについては、児童の気持ちをしっかり聞き、事実と照らし合わせて児童が納得のいく指導を心がける。また、そのことを保護者にも伝え、迅速に対応していく。 ○ 特別支援教育に関する児童の理解を深めるために1時間の集会を開く。このことを核にしなが、学級経営・日常指導を行い、自他の思いや考えを受容できる(多様な他者を理解できる)力を育成していく。 ○ 清掃指導の時間を増やし、環境を自ら整えることで、学習活動への意欲を高めていく。 ○ 生活のきまり、学習のきまりを学年に応じた形で常に意識させ、きまりの意義や意味を理解させ、規範意識の向上を図る。 ○ 履物・廊下歩行については全職員での声掛け指導を行う。	63	76	○ けがや事故については、小さな怪我等が見られる。児童に指導するとともに、環境面で安全点検をもとに事故の起こる前に修繕していく。 ○ スクールスポーツプランをもとに体力テストで判定の低い分野を強化する運動(準備運動等)を全校で取り組んでいく。
	3-2	友達と仲良くし、人に親切にできていますか	98	90	88	93	85			79		
	3-3	いじめのない学校づくりに取り組んでいますか	98	85	88	90	85			92		
	3-4	学校のきまり/交通安全/マナーを守っていますか	97	85	78	87	81			75		
	3-5	清掃や美化活動に努めていますか	96	86	90	90	82			79		
	3-6	周りの人のために進んで行動していますか	96	85	87	89	75			71		
健康安全体力向上	4-1	「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣がありますか	96	86	88	91	77	○ 3の(安全管理や事故防止): 総合平均で95点と最も高く、特に職員(97点)と児童(98点)の双方が高い評価をしており、安全への取り組みが徹底され、信頼されていることが分かる。 ○ 体力向上において、体育の授業における取組が課題である。	—	88	○ けがや事故については、小さな怪我等が見られる。児童に指導するとともに、環境面で安全点検をもとに事故の起こる前に修繕していく。 ○ スクールスポーツプランをもとに体力テストで判定の低い分野を強化する運動(準備運動等)を全校で取り組んでいく。	
	4-2	歯みがきの習慣が身に付いていますか	97	90	88	92	83					—
	4-3	安全管理や事故防止に配慮していますか	98	91	97	95	86					100
	4-4	進んで運動をしていますか	97	87	90	91	81					75
地域連携	5-1	教育方針などを分かりやすく伝えてありますか	96	86	96	93	80	○ 3の(地域の教育力): 総合平均が89点と、全項目中2番目に低い結果となっている。職員評価(82点)も低く、地域連携活動の「楽しさ」や「実践」について、改善の余地があることが示唆される。	100	99	○ 4月に個人面談を全員実施し、児童の情報を保護者と学校が共有し、学校の教育方針等も積極的に伝えていく。 ○ やっさ祭り、レクリエーションなどPTAを中心とした活動を来年度も継続し、PTAが一体となった取り組みを行う。 ○ 米作りは、来年度に向けて今年度のうちに協力を依頼する。 ○ 福祉体験、花の苗植えなど地域と連携した活動も充実できた。学校運営協議会に公民館長の参加を依頼し、学校と地域との連携を図っていく。(地域・学校がWin-Winの関係づくり)	
	5-2	悩みや相談がしやすいですか	97	85	90	91	83					100
	5-3	地域の教育力を生かした活動は楽しいですか	96	85	82	89	81					96